

令和6年9月

河内長野市立長野中学校
令和6年度
全国学力テスト結果・分析報告書

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立長野中学校

全国学力・学習調査の概要

国語

設問番号	学校の 平均正答率
1一	61.3
1二	54.2
1三	43.9
1四	35.5
2一	27.1
2二	69.7
2三	51.6
2四	31.0
3一	76.1
3二	50.3
3三	60.0
3四	34.8
4一	56.8
4二	41.3
4三	66.5

数学

設問番号	学校の 平均正答率
①	25.8
②	49.0
③	64.5
④	57.4
⑤	67.1
⑥(1)	89.0
⑥(2)	25.8
⑥(3)	26.5
⑦(1)	67.1
⑦(2)	20.0
⑦(3)	28.4
⑧(1)	74.2
⑧(2)	12.9
⑧(3)	69.0
⑨(1)	23.2
⑨(2)	16.8

概要

話し合いから、必要な情報を読み取る問題や、二つの情報を読み取り適切な語句を補う問題や、図の役割の説明を解く問題などが出題されている。また自分の考えを書く問題や、表現の効果を説明する記述問題もあった。知識を問う問題に関しては、漢字、歴史的仮名遣い、表現技法、語句の意味、行書などが出題された。

特に成果が見られた問題例

4一の短歌に用いられている表現技法を考える問題、1一・三の話し合いの中で発言の説明について適切なものを答える問題では成果が見られた。4一の問題に関しては日ごろの授業内で繰り返しから定着したと思われる。1一・三からは授業内での話し合いから得た知識ではないかと思うのでこれからも継続していきたい。

特に課題が見られた問題例

2四本文の要約をする問題、1四自分の考えを書く問題、3四表現の効果を説明する問題などには課題が見られた。普段の授業やテスト問題の中でも要約をしたり、自分の考えを書くことに対して苦手意識を持っていたり、無回答の生徒が多くいると感じられる。読む、話し合う理解するだけでなくそこから自分の考えや他者の意見をまとめられるような力をつけていきたい。そのためにも授業内で書くことを増やして、さまざまな工夫を考えていく。

概要

4領域（「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」）すべての領域から出題されている。

特に成果が見られた問題例

毎日の授業始めでのドリル学習などを通して、基本的な問題の反復練習を行ってきたため、特に計算に関わる設問で、大阪府の正答率に近づけることができた。また、「図形」の領域について、視覚的に判断できる問題の正答率も比較的高く取ることができた。

特に課題が見られた問題例

「データの活用」の領域におけるデータから必要な情報を読み取り判断する力、「数と式」の領域における文字を用いて説明する力が府の正答率よりも大きく下がっており、本校の課題である。今後、この領域における授業内容の復習と問題演習を行い、また各自が主体的に説明をする機会も増やし、論理的に表現する力を定着させたい。

概要

学校生活・家庭地域での生活における学習状況に関するアンケートです。

成果が見られた項目からは、

「(9) 自分にはよいところがある」「(12) 学校に行くのが楽しい」「(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ち」を感じる生徒が多い。これは「(10) 先生が、自分の良いところを認めてくれる」こととの関連が高いと考えられる。

また、「(46) 道徳の授業で自分の考えを深め、学級やグループで話し合う活動に積極的に取り組む」生徒が多く、「(36) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫」するなど、自分の気持ちや考えを相手にわかりやすく伝えようとする活動に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。

一方、課題が見られた項目からは、「(23) 新聞をよく読む」生徒が極端に少なく、全国、府の平均とほぼ同じである。本校生徒においても活字離れが進んでいる。しかし、「(47) 国語の勉強が好き」な生徒が、大阪府・全国平均より高く、活字を拒絶しているわけではなく、活字に触れる習慣を身につければ、さらに学力向上が期待される。そのため、自分の気持ちや考えを伝える活動をさらに進めていく必要がある。

調査結果を受けて

特に成果が見られたアンケート項目例(全国平均と同等かそれ以上の水準であるもの)。

または、肯定的な意見が80%以上であるものなど)

- (1) 昼食を毎日たべていますか
- (2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- (9) 自分には、よいところがあると思いますか
- (10) 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか
- (12) 人が困っているときは、進んでたすけていますか
- (13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- (15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- (16) 学校に行くのは楽しいと思いますか
- (17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- (18) 友達関係に満足して言いますか
- (19) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- (20) 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- (28) 1, 2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、
次のことがあなたにどれくらい当てはまりますか
 - (1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
 - (2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
 - (3) 楽しみながら学習を進めることができる
 - (4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる
 - (5) 自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる
 - (6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
 - (7) 友達と協力しながら学習を進めることができる
- (30) 1, 2年生のときに受けた授業では、議題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- (32) 1, 2年の時に受けた授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていましたか

- (33)学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか
- (34)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- (35)授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けたり、生かしたりすることができると思っていますか
- (36)先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれているとおもいますか
- (37)授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- (38)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなど学習活動に取り組んでいますか
- (39)あなたの学級では、学究生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか
- (40)学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- (41)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- (43)国語の勉強は大切だと思いますか (44)国語の授業の内容はよく分かりますか
- (45)国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (46)国語の授業では話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係をとらえて理解していますか
- (49)国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要御な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか
- (51)数学の勉強が大切だと思いますか (52)数学の授業の内容はよく分かりますか
- (61)1, 2年生のときにうけた授業では、英語を聞いて(一文ごとではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていますか
- (62)1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文ごとではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていますか
- (64)1, 2年の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
- (65)1, 2年の時に受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

特に課題が見られたアンケート項目例(全国平均よりも大きく下回るものや肯定的意見が60%以下のものなど)

- (22)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (23)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (24)新聞を読んでいますか
- (54)数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- (56)数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか

学校や校区で重点的に取り組んでいくこと

授業改善

○授業研究

授業見学週間などに相互参観を行い、課題を検討し、授業改善につなげる。思考ツールやノートの編集作業を通して個別で考え、提出や送信機能で共有を図る。実際の交流と組み合わせてグループやクラスで学びを深める。

○見通し・生徒活動のある授業（言語活動・協働学習の充実）

各教科の授業で、「めあて」を明示し、生徒に授業のゴールを意識させ、授業への参加意識を高める。授業の終わりにはまとめの板書、問題演習などを行い、授業を振り返らせる。

○ICTの活用の推進

個人情報（他者の肖像権含む）の管理、ネット SNS 利用時の人権侵害など情報モラル・セキュリティの理解をはじめに、一人一台端末を活用し、タイピングなどの操作力や情報収集とその分析などのデータ活用能力を高める。

○基礎学力の定着

授業の復習テスト・単元末テスト・既習単元テストなど小テストに取り組む。また、定期テスト及び国府の学力調査にむけた対策演習を行う。

多様な学び

○学びの自律

生徒自らの学習 PDCA サイクルの実施（テスト計画表の作成を活用した課題発見と解決策の検討）

○家庭での ICT 活用

一人一台端末を学習に利用できるよう学校の授業だけでなく、家庭においてもタイピング練習、検索などの調べ学習やレポート（音声や写真・動画含む）提出できるよう持ち帰り学習を定期的に行う。

○新聞学習

週に1度、朝学習時に、読み解き新聞ワークシートなどを活用した新聞学習を実施する。学びの道に中高生新聞と統合版を閲覧できる新聞コーナーを設置する。

○放課後学習

週に1回、全学年を対象に放課後学習会を実施する。図書館開室と連携して放課後学習ができるようにする。

○自主学習（家庭学習）

大阪府教育委員会の「学びチャレンジ(確認・補充・発展)」を整備し、いつでも持ち帰って学習に取り組めるよう自学自習プリント BOX を設置する。（5教科）

○地域活動への参加

地域の行事や文化教室などへの参加を促し、地域住民との交流を充実させる。その中で地域や社会をよくするには自分がどう関わればよいかを考える契機にする。

生徒のみなさんに取り組んでほしいこと

学習の取り組み

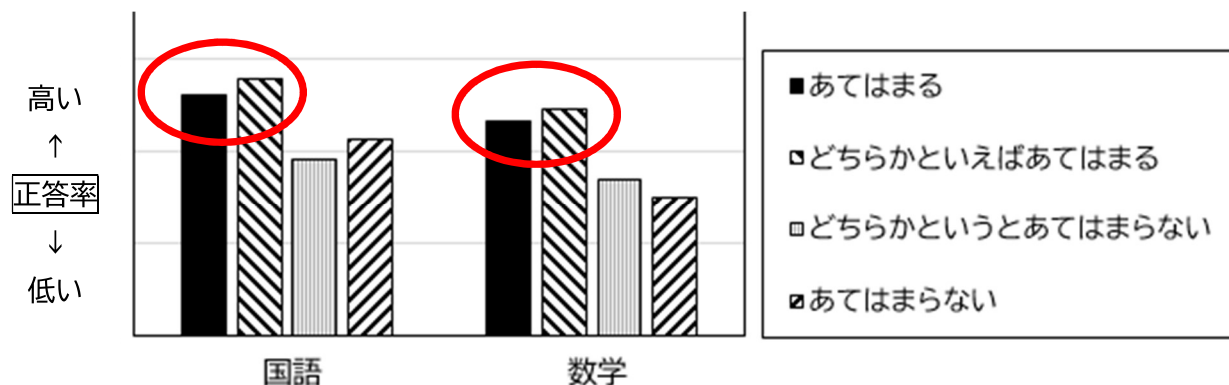
- 学習や生活において自らの課題を客観的に分析し、その課題を克服できるよう計画をたて、実施する。
- 興味のある本を読む。文章の大意をとらえ、自分の体験や知っている事柄と関連付けて、自分なりに感じ、理解する。
- 新聞やニュースを見聞きし、社会で起きている事象について、自分に関わるものとして捉え考える。自分の感じたことや体験から考え、自らの言葉で文章を書いたり、話したりする。
- スマホやネット（SNS、動画視聴）の利用が長時間にならないようにする。学習用端末を家庭で利用する。タイピング練習や情報収集、文書作成・提出等に用いる。

保護者のみなさんに取り組んでほしいこと

ご家庭や地域において多様な学びが充実するよう学習環境を整えましょう。

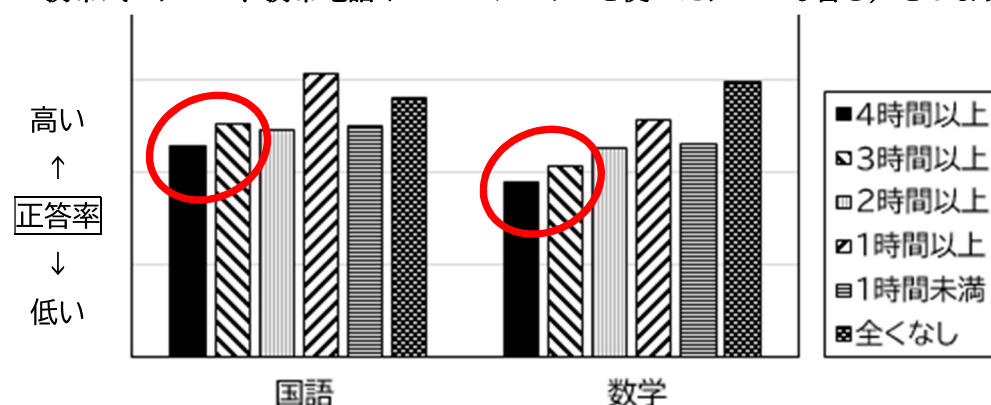
- ①お子様が読書に関心が持てるよう図書館利用を勧める、関心がある本を購入するなどして本に親しむことができる環境を整えてください。
- ②新聞やTV、インターネットでのニュースを家族の話題にし、起きている事象の背景を保護者からお子様へ伝え、どのように感じるか、どんな問題が考えられるか、どのようにすれば事象における問題が解決するかなどについて話し合う時間を取ってください。
- ③地域活動について、家庭ぐるみで参加し、地域社会において多様な体験や関わりを持てるようにしましょう。
- ④過程で学習できる場所を整え、静かに学習できる空間を作ってください。
また、スマホやSNS、インターネットについて、使用時間や使用する時間帯、使い方など家庭内でのルールを作ってください。
- ⑤毎日朝食をとる生徒は正答率の高い傾向にあることが、様々な研究から指摘されています。生徒が、毎日朝食をとるという基本的な生活習慣を身につけてあげてください。

(1) 朝食を毎日食べていますか

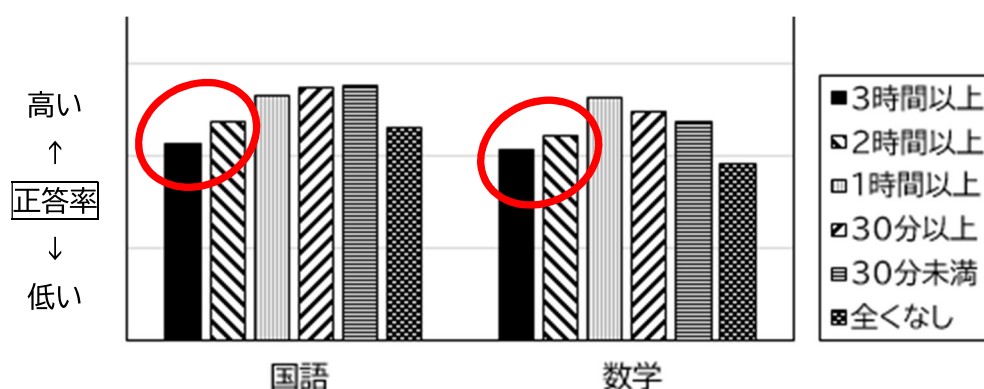


(1) 朝食を毎日食べているかの質問に対して、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した層は「あてはまらない」層と比較して正答率が高い傾向にある。朝食を食べることは、活動に必要なエネルギーの補給、脳を活性化させ集中力を高めることにつながる。

(5) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

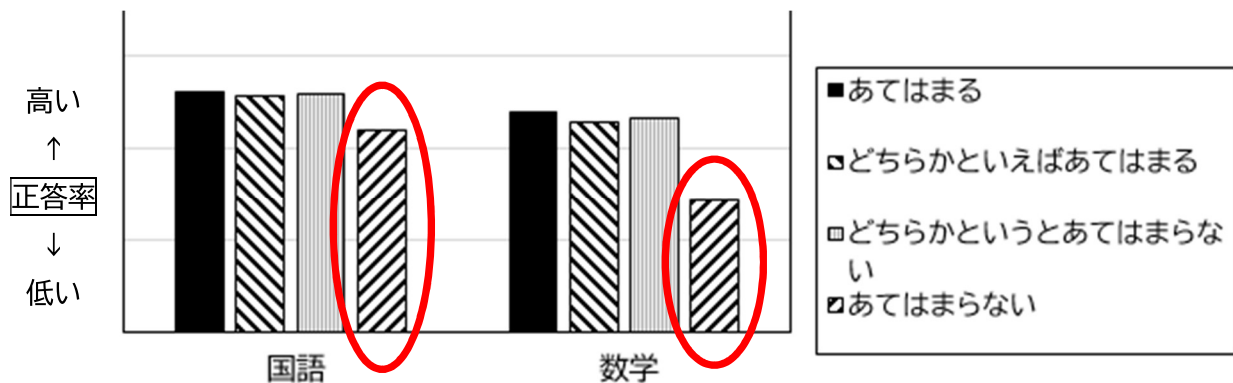


(4) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



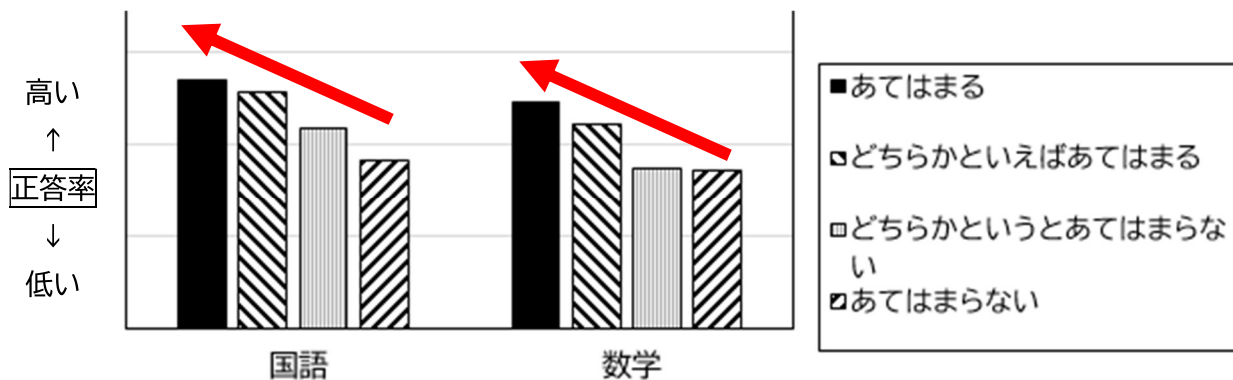
(5) 長時間のテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)は、正答率の低下に影響を及ぼしている。また(4)PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために長時間使用することも正答率が下がるなど、ICT機器を使用する際は、勉強、遊びのどちらにも適度な時間が好ましいといえる。

(9) 自分には、よいところがあると思いますか



(9) 自分には、よいところがあると思うか(自己肯定感)の質問に対して、「あてはまらない」との否定的回答をした層は正答率も低い傾向がある。自己肯定感、自立した学習者を支える基盤となり、学力も高くなる傾向があるため(10)の質問のように認めてもらえる環境が必要。

(10) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



(10) よいところを認めてくれていると感じている生徒(自己肯定感が高まる(?))ほど、正答率も高くなっていく傾向が見受けられる。学習面だけでなく、普段の学校生活から生徒のよいところを見つけ、褒めていく取り組みが必要。(今後、人権部より褒め褒めタイムなど実施予定)

問題類型による課題・分析

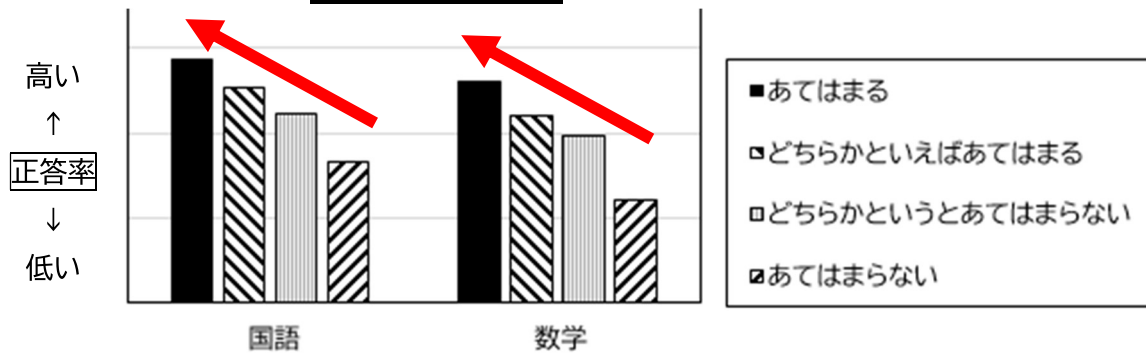
国語科の問題において、記述式問題が3題出題された。[設問1四 無解答率:長野中22p 府12p] [設問2四 無解答率:長野中12p 府10p] [設問3四 無解答率:長野中27% 府17%]

数学科の問題において、データ活用問題(記述)が4題出題された。[設問5 無解答率:長野中8p 府5p] [設問4(1) 無解答率:長野中11p 府7p] [設問7(2) 無解答率:長野中50p 府35p] [設問7(3) 無解答率:長野中1p 府1p ※選択問題であったため無回答率は低いが無回答の割合は非常に高い]

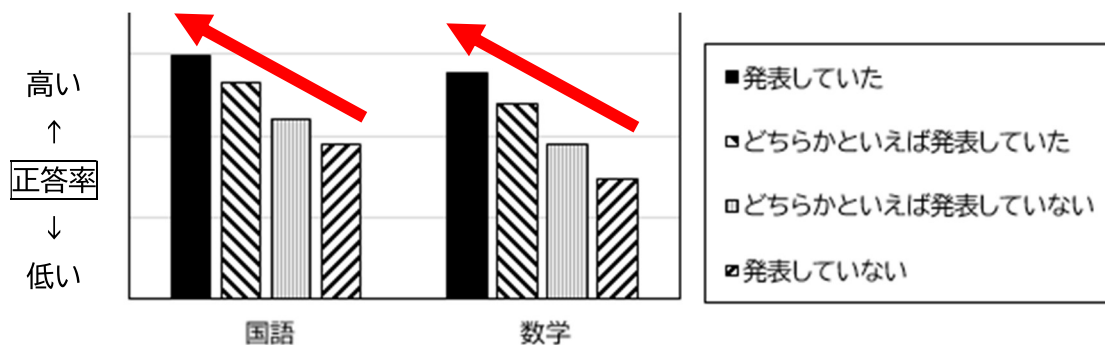
以上のことから、記述式の問題に対する無解答率の高さが目立つ結果となった。この分析結果を踏まえて、今後の学習指導として①書くこと(記述式/長文読解など)に対する苦手意識の克服、②記述式問題やデータ活用問題など難しい問題に対してチャレンジする姿勢の向上を目標としていく。

そのための方策として、①各教科の授業にとどまらず文章を書かせること、②文章をしっかり読むこと、③各授業や定期テストなどにおいて記述式問題やデータを活用する問題を複数取り入れ、苦手意識の克服と日ごろから問題に慣れさせるようにしていく。

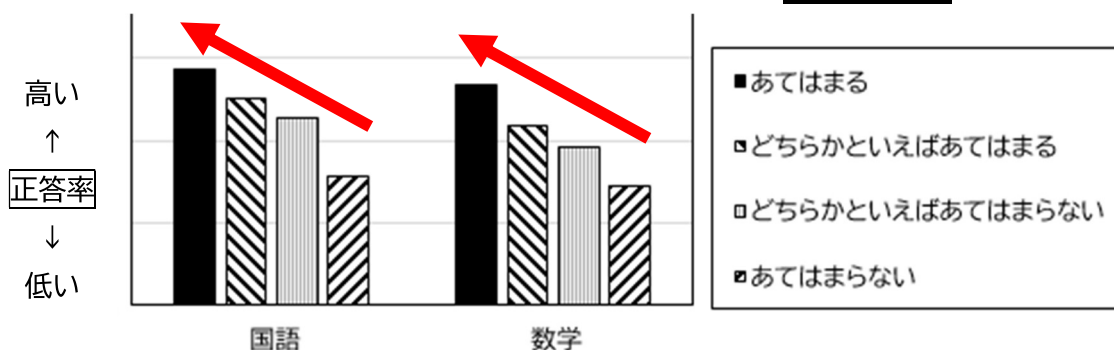
(20) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか <主体的な学び>



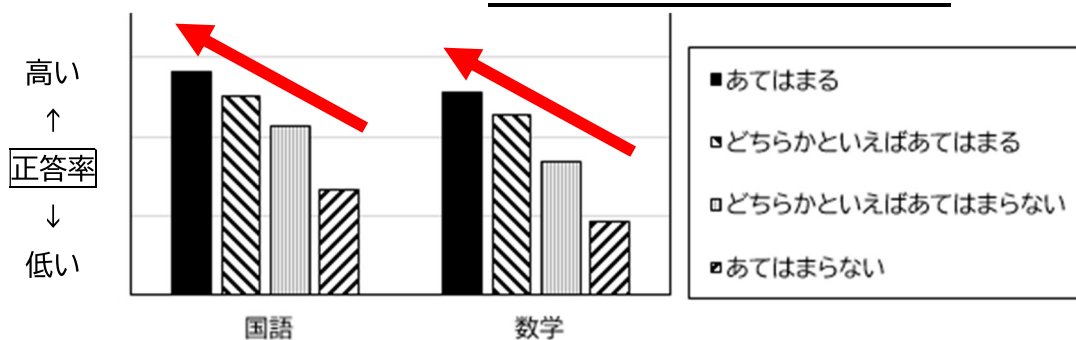
(29) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか <対話的な学び>



(30) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか <深い学び>

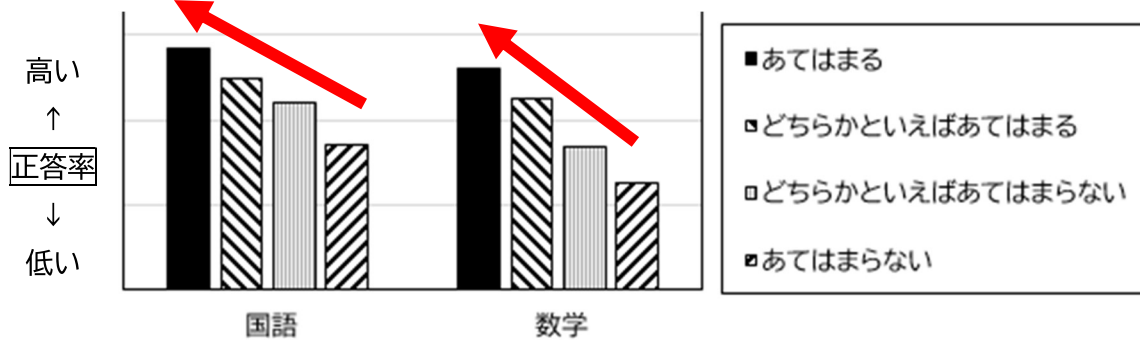


(31) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか <対話的な学び、深い学び>



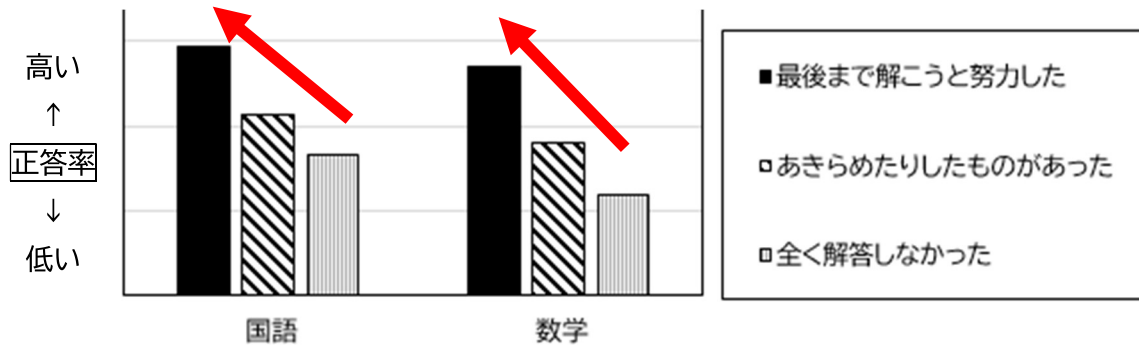
昨今いわれている「主体的、対話的で深い学び」に関する項目であるが、いずれの質問においても肯定的な回答ほど正答率が高くなる傾向が顕著に現れている。長野中の現状として、経年比較でも(29)対話的な学びの面が弱い傾向にあるので、授業だけでなく様々な場面の発表において思考ツールを活用するなど相手のことを考えた工夫の仕方を高めていく必要がある。(30)深い学びにおいては、昨年度からの学校全体の取組みもあり年々上昇傾向にあり成果がでている。

(55) 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



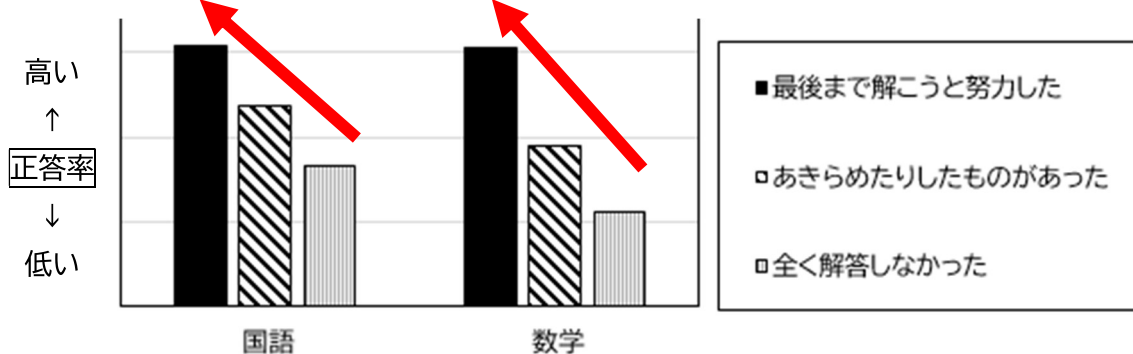
(国1) 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。

それらの問題について、どのように解答しましたか



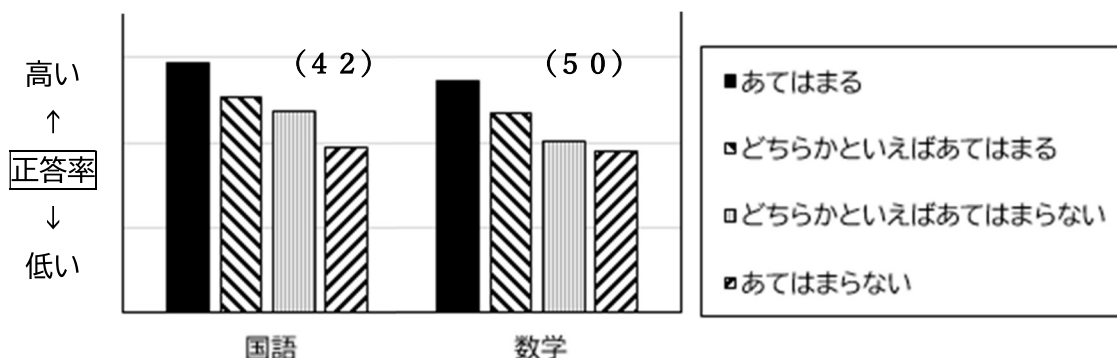
(数1) 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。

それらの問題について、どのように解答しましたか



困難な課題に対してや、文章や言葉・式で説明する問題に対する取組み姿勢において、「あきらめず」「最後まで解こうと努力した」と回答した層の方が正答率が高い傾向にある。総合的な学習の時間における探究活動や普段の授業、定期テストにおいて記述問題に取り組むことが必要。また解答を待つのではなく、自ら進んで困難な課題に取り組もうとする主体性も重要。

(42) 国語の勉強は好きですか (50) 数学の勉強は好きですか



(その教科の)勉強が好きであればあるほど正答率も高くなる傾向にあるので、どの教科においても教材研究に力を入れ、生徒が興味関心を持てる授業に努めていくことが大切である。